

平成 28 年度 バルツァ・ゴードル事業報告

看護療育部

【看護療育統括】

1階病棟における一般病床（看護基準 10 対 1）のスタートから 3 年 4 か月、看護師不足問題は未だ予断を許さず最優先課題である。しかしホームページの充実化、リクルートブック制作などの影響もあり看護師の見学、面接は徐々に増え看護師確保にはかなりの追い風である。それに比べ介護福祉士などの療育スタッフに関して殆ど増員が出来ず、療育業務を看護師が工夫をしながら病棟を回しているのが現状である。

看護療育部スタッフの定着、やりがい維持の為に 2 年前より実施している、バルツァ看護療育部としての研修体系の確立（求められる人材像からのチームごとの求められる修得領域、そのための目標管理から沿った研修体系）もスローペースではあるがスタッフに徐々に浸透して看護師の定着率にかなり良い傾向にある。ショート利用者数は昨年度並みにキープは出来たが、新入所者 0 名に留まったところは大きな反省と考えられ次年度の大きな課題の一つに挙げられる。

持ち越しの課題として、1 階病棟の業務内容（呼吸器導入）と 2 階病棟の体制と業務改善（利用者の異動）‘看護師と療育の協働’の確立への実施が挙げられる。業務の中でゆっくりではあるが確立の方向へ向かっている。

個別支援の充実からの利用者への、より良い援助サービスの向上が、スタッフ自身の定着の為、または満足感・やりがいのある病棟環境づくりはスタッフ一同意識付から来年度も大切な実践課題として持続継続は必須と考える。

今年度の社会福祉法人として地域への貢献という変革に向けての実践が求められる中、施設入所という枠組みから一歩前進でもある中間施設建設、展開に向けて現段階よりバルツァにもとめられている部分で前進的対応を目指す。

【外来】

一年間の業務に関しては、利用者、ショート利用者様などからの評価もあり接遇的にみても満足に値する実施評価であったと考える。ただ他部署との連携に関して、利用者の装具・座位保持装置作成時の際、製作者サイド（業者・pas）利用者御家族、バルツァスタッフとの連携にややスムーズさに欠ける場面があり次年度の課題と考える。

地域、外部交流に関しては、飛鳥中学、高円高校をはじめとする臨床実習を含め 13 校との交流もあり今後も地域への貢献として交流を深めていきたいと考える。

【1 病棟】

ご利用者様の安全で快適な療養環境の提供を柱に、療育職員の人数減少に伴う業務の見直しの中で活動の計画・実施の活性化、特に園外活動も継続的に実施できた。またコスト削減目的にて加湿目的用インスピロンの使用見直しおよび吸入回数見直しによる業務改善によってかなりの時間もコストも削減できた。

保育内容についても、新規内容を取り入れ計画的に実施できるようできた。

しかし、新入所者の目標 2 名と掲げていたが、ショートへの御利用者の増減はあったものの、結果は新入所者 0 名という結果となった。

・介護の人員減少に対し、看護と介護とがどのような場面で協力体制が出来るのか話し合いを行いお互いの業務を尊重し助け合う事で、互いの役割を尊重し、業務内容の調整や共同作業などスムーズに行えるように改善した。

- ・医療行為についても、現在行っている行為が必要かどうか、医師と話し合いを行った。1例として、加湿目的のインスピロンが必要なのか。以前、喀痰による閉塞がきっかけとなり使用している。しかし、酸素を使用する事や、管理の煩雑さや業務の負荷にもなっていた。安全対応をスタッフ間で共有し、医師の了解も得て、加湿目的のインスピロンを中止に至る。

- ・学習会の実施・研修参加（家庭状況でやむを得ず非常勤で職場を支えている職員が、参加したくてもできない状況を改善し、常勤へつながる職員としてサポートする体制を改善。

- ・個別支援の充実（計画実践の内容が記録されていない状況であったが。どのように記録として残すか、支援計画用紙も含め全体を見直す問題も浮き彫りとなり僅々の課題となる。

- ・コスト管理（毎月の棚卸の状況を確認、過不足の確認に加えて現在の処置に必要な物品を把握する定数の変更は何点か実施した。

- ・在庫管理（SPD 室での在庫の確認が出来ていない。在庫整理の実施を行う必要最低限の在庫にするため、不必要なものの洗い出しが必要と考えられる。

【2 病棟】

平成 28 年度の目標として、さまざまな利用者の欲求を理解し、それに合った生活援助の向上を念頭に、業務改善を「核」とした病棟運営を実践した。

- ・業務改善

A チームに医療グループの確立（医療的処置の多い利用者のグループ分けを行い、看護・療育が協働した援助体制を実施した）

徐々に増加しつつある A チームの医療行為と日常生活援助を行うグループと業務をはっきりと分けることで業務の整理が出来、スムーズな情報交換が可能になった。

- ・生活援助グループの援助の充実（活動の充実グループ分け）医療と支援を利用者別に業務を分けることで業務時間の短縮が図れた。

- ・個別支援計画

今年で 3 年目を向かえる。これまで一定の評価を得ているが、中には誕生日月の面談は理解しにくい、どんな支援をしてもらっているかが分かりにくい・・・などの意見も聞かれ今後の方式の改善は必須である。

早急に個別支援運営委員会を立ち上げ、改善に向けての働きかけが必須と考える。

- ・職員のレベルアップ（研修会への積極的な参加・各自の目標設定の実施、やりがいのある職場環境を目指した）

スタッフへの目標面談を行うことにより、管理者はスタッフの考えや思いを把握でき、スタッフは自分の考えをわかってもらえたという満足感を覚えた。このことはまさにスタッフの離職防止にも関連している。

薬剤課

H. 28年4月～H. 29年3月 処方箋枚数、剤数

		外 来			入院(臨時)		入院(定期)		入院(臨時)
		剤数	枚数	注射(枚)	剤数	枚数	剤数	枚数	注射(枚)
H. 28年	4月	28	15	1	250	223	2012	280	46
	5月	29	17	0	282	251	2515	350	42
	6月	32	15	0	294	263	2012	280	34
	7月	30	16	1	268	243	2012	280	19
	8月	42	24	0	297	252	2515	350	32
	9月	55	24	2	216	193	2012	280	20
	10月	77	37	0	278	250	2012	280	18
	11月	28	14	0	272	236	2012	280	52
	12月	48	25	0	311	278	2012	280	60
H. 29年	1月	37	19	0	392	196	2012	280	50
	2月	40	162	1	666	333	2515	350	30
	3月	48	114	1	683	342	2012	280	50
	合計	494	482	6	4209	3060	25653	3570	453
	AVE. (Month)	41	40	1	351	255	2138	298	38
	AVE. (Day)	2.0	1.9	0.0	16.8	12.2	102.6	14.3	1.8

栄養課

食事提供においては、昨年度と引き続き大きな事故もなく無事終えることができた。

厨房の人員体制は中々整わず、業務が行われてきた。年末年始によりややく会社側との協議を行い、次年度に向けての体制見直しが約束された。また昨年度末より従来からの目標課題であったゼリー食の導入が実現できたことは大きな成果と考える。

一方で施設側の栄養士体制も前年度に増員となり、業務分担もでき順調に来たが、2月末で退職となり再び1名の体制となった。引き続きの募集を続けているが現在はまだ決まっていない。それに伴い、育休中の管理栄養士が3月に復帰し、一部の業務を分担しながら平成29年度スタートする運びとなった。

<反省・評価>

ゼリー食の導入を進めることができたことは最大の成果である。ただし、導入後体調面の問題からミキサ一食に戻した利用者もいる。それにより、ゼリー食への全面切り替えを計画していたが今のところ実現が不可能な状態である。次年度はさらに内容を検討し、評価していく必要がある。

栄養士2名体制できたが、退職により再び1名体制の形となったため人員体制での面においては今後の課題である。

給食管理・栄養管理においても次年度はゼリー食の評価を中心に、事故のないよう食事提供を継続していくことが最大の課題となる。

<平成29年度の目標・課題>

- ・ゼリー食の提供継続と課題の整理
- ・安心・安全な食事の提供
- ・栄養（再）評価およびNST運営の継続

平成28年度 行事及び時節献立一覧表

開催月	日付	項目	主な内容
4月	複数日	春メニュー	豆ごはん、春野菜の天ぷら、めばる、いちご、春野菜料理
5月	5月5日	こどもの日	ハンバーグ&エビフライ定食、こいのぼりケーキ
6月	複数日	夏メニュー	冷やし中華、冷やしそうめん、夏野菜カレー
7月	7月7日	七夕	七夕そうめん、蒸しシュウマイ、スイカ、星のマドレーヌ
	7月30日	土用の丑	うなぎの蒲焼、ひじきと胡瓜の酢の物
	7月23日	夏祭り	焼きそば、たこ焼き、青梗菜のお浸し、レアチーズムース
8月	複数日	夏メニュー	夏野菜料理
9月	9月15日	十五夜	お月見うさぎケーキ
	複数日	秋メニュー	きのこカレー、茶碗蒸し、栗ごはん
10月	10月22日	秋祭り	焼きそば、たこ焼き、グリーンサラダ、セレクトおやつ(ロビー喫茶にて)
	複数日	秋メニュー	さつま芋ごはん、秋野菜料理
11月	複数日	秋メニュー	きのこカレー、秋野菜料理
12月	12月10日	クリスマス会	プチライス、煮込みハンバーグ、具だくさんポタージュスープ いちご練乳がけ、手作りクリスマスケーキ
	12月25日	クリスマス	エビフライ、野菜の炒り煮、X'masケーキ
	12月31日	大晦日	年越しそば、寄せ鍋風
	複数日	冬メニュー	茶碗蒸し、冬野菜料理
1月	1月1日	お正月	赤飯、おせち、雑煮、お正月ケーキ
	1月7日	七草	七草粥、鶏の唐揚げ、酢の物
	複数日	冬メニュー	冬野菜料理
2月	2月3日	節分	恵方巻き、野菜の炒り煮、すまし汁、鬼面ケーキ
3月	3月3日	ひな祭り	春の散らし寿司、南瓜のそぼろ煮、すまし汁、お節句ア・ラ・モード
	3月27日	力士交流会	ちゃんこ鍋
	複数日	春メニュー	春野菜料理

※ 毎月誕生日会に手作りケーキ、注入者へはジュース提供

院内約束食事箋及び行事食写真

手作りおやつシリーズ

一般食		特別治療食	
食種	熱量 kcal	食種	熱量 kcal
常食	A	1500	脂質異常食
	B	2000	
全粥食	1380	低脂肪食	1572
ペースト食	1190		
流動食	770		
低カロリー食	1200		

3月3日



雛祭り食

2月3日



鬼面ケーキ

正月メニュー



正月メニュー

ふつう食



ふつう食

きざみ食



きざみ食

押しつぶし食



押しつぶし食

ゼリー食



ゼリー食

菓子のロールケーキ



菓子のロールケーキ

訓練課

常勤セラピスト各々が自己研鑽に努めることができた。しかし、訓練課内での知識及び利用者様についての情報の共有は十分にできなかった。次年度はセラピスト同士が情報共有できるように、一人の利用者様を同時に見て検討しあう時間を設定する。また、業務の見直しを随時進めていく。

今年度購入した物品のスイングチェアやバイブレーションビーンズクッションは、不定期ながら使用できた。またイベントなどで多くの人に体験して頂く機会を得ることもできた。今後は訓練で定期的に使用できるよう計画的に進める。

平成 28 年度は常勤 PT が不在であった。見学者はあったが就職試験受験者はいなかった。PT 不在の現状の打開と、PT 以外のセラピストの拡充のために、今後も対外的なアピールを継続して行っていく。(作品展への応募、学会等での積極的な参加や発表、就職説明会への参加など)

OT

利用者様への理解をさらに深めることができた。しかし、定期的な症例検討会を計画していたが、継続して開催することができなかった。訓練効果を日常に般化し、利用者様の生活をより豊かにするためには、より即時性の高い検討を行う必要がある。平成 29 年度は検討会を月に 2 回以上設定し実施することで、QOL の向上につながるよう努める。

グループ訓練では各利用者様方が持つ能力や特性を活かすことができた。方法や道具を工夫し、各々が役割を持ち作業を行うことで、より多くの利用者様がグループでの活動に参加できた。また、グループ活動のうち『ものづくり』グループを年間を通して実施し、複数の作品展や年間イベントに参加した。訓練課前の廊下にはギャラリーを設け、定期的に作品を展示するなど、この取り組みを家族様や職員に知って頂けるよう努めた。しかし、治療経過の記録や検討が不十分であり、十分に振り返ることが出来なかった。

ST

個別訓練では個々の利用者様の状態に合わせた訓練を行ってきた。病棟との勉強会について検討は進めていたが、実施には至らなかった。来年度は、病棟職員が必要だと思う知識や技術を中心とした勉強会を実施したい。

摂食訓練に関しては、引き続き食事形態の検討や話し合いを行い、病棟職員との連携に努めた。

また、ゼリー食については今年度を通して理解を深めることができた。今後も検討を重ね、来年度につなげていきたい。

グループ訓練

OT と ST が共同で行っている茶話会と喫茶店は継続することが出来た。茶話会には新たな利用者様が参加することが出来た。また、継続して参加している利用者様はできる作業が増えた。訓練後は毎回の振り返りを行ったが、セラピストが考える利用者様の個々の目標や評価について検討しあう機会は少なかった。

他職種との連携

利用者様の生活について病棟職員とともにポジショニングや日常生活上の対応などについて検討した。また、栄養課とは、『畑プロジェクト』を通じて園芸で収穫した作物を喫茶店やイベントで連携することが出来た。しかし、情報共有や認識、理解の統一は円滑でない場面もあった。情報の齟齬が生じないように、書類や写真など情報が形として残る方法を実施することで、他職種との連携を円滑に進めるように努めた。そのうえで、病棟をはじめとする他職種との密にコミュニケーションを図り、情報を共有できる方法、協力体制を作っていきたい。

また、訪問教育の先生方とも連携し、一緒に授業場面での検討などを行うことはできた。しかし、日常的に一般化できるほどの成果へと繋げることは適わなかった。今後は就学児の発達を促せるよう具体的に話し合い、進めていきたい。

地域支援

延べご利用者数、外来数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1病棟	在院患者延べ数	810	835	810	837	837	810	837	810	837	837	742	837	9,839
2病棟	在院患者延べ数	1,168	1,205	1,170	1,209	1,209	1,170	1,209	1,168	1,178	1,178	1,069	1,184	14,117
合計	在院患者延べ数	1,978	2,040	1,980	2,046	2,046	1,980	2,046	1,978	2,015	2,015	1,811	2,021	23,956

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月末患者数(児)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
月末患者数(者)	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61.0
月末患者数計	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66.0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
外来患者数	81	95	96	109	107	118	142	228	158	108	91	125	121.5

短期入所

今年1年間の短期入所者の合計は122人、延べ人数では143人、延べ日数では591日となる。昨年の利用者の合計が118人、延べ人数が136人、延べ日数が588日であり、2・3月には病棟における呼吸器感染症の流行で一時的に短期入所の利用制限があったにもかかわらず、すべてにおいて少しずつ増加している。内容を比べると昨年の短期利用者の実数が20名であるのに対し、今年は24名となり新たに短期入所を利用された方は7名増えている。レスパイト体制整備事業の影響か、特に2月以降において奈良市外の方や呼吸器使用の短期入所の利用希望が増加しており、この春を挟んでまだ短期入所利用に伴うショート診察を待たれている方が10名おられるのが現状である。

計画相談

バルツァ・ゴードルで計画相談をさせて頂いている方は60名おられ、今年は作成・継続を含めて72件の計画相談支援を行った。在宅においても、身体障害の女性から計画相談を依頼され、この方以外にも、今後病院から地域で生活される予定の知的障害の男性の計画相談をお願いされている。他にもサービス事業所やこれから福祉サービスを利用される保護者から、児童の計画相談の依頼があったが、児童は扱っていないためお断りしている。今後は地域で生活されている方の支援を行う中で複眼的な思考を養いながら、施設内のサービスで完結されがちな利用者さんの計画の質も高めていきたい。

基本相談

短期入所利用に関する相談は18件、入所に関する相談は9件、計画相談に関する問い合わせは5件あった。ちなみに昨年においては短期入所利用に関する相談は7件、入所に関する相談は11件、計画相談に関する問い合わせは3件であり、短期入所の相談が急増している。短期入所に関する問い合わせは、在宅で人工呼吸器を使用している方のレスパイトおよび、東大寺福祉療育病院のショート閉鎖に伴う代替りの短期入所施設の確保に対する相談が多数を占める。これに対して入所に関する相談は若干減っており、特に子供の入所希望は呼吸器でない方はほとんどいないのが現状である。

平成29年度 地域支援目標

- ・入所調整会議の定期および適宜開催
- ・人工呼吸器使用者の短期入所の段階的な受け入れ
- ・障害児・者相談支援全国連絡協議会研修および自立支援協議会（相談支援部会）の参加
- ・サービス等利用計画の質の向上
- ・レスパイト体制整備事業のシリーズ化

奈良県委託事業

事業名：重症心身障害児・者レスパイト体制整備事業

委託料：金980,000円

内 容

- 『重症児・者のライフステージにおける課題を学ぶ講演会』

日時：平成29年1月22日（日）13:00～16:00

場所：奈良市総合福祉センター

参加者数：71名

- 『障害福祉サービス（療育）体験会』

日時：平成29年2月25日（土）13:00～15:00

場所：奈良市総合福祉センター

参加者数：47名

- 『医療的ケアに関する理解を深めるための研修会』

日時：平成29年1月28日（土）13:00～15:00

場所：重症心身障害児学園・病院バルツァ・ゴードル

参加者数：10名

日時：平成29年3月4日（土）13:00～15:00

場所：重症心身障害児学園・病院バルツァ・ゴードル

参加者数：9名

28年度 園内研修実績

No.	研修項目	担当課・委員	講師氏名	日程	曜日	時間	実施人数
1	行事委員の取組	行事	療育：久保、松岡	4月13日	水	17:45～	21
2	診療報酬改正	医事	医事：辻	4月27日	水	17:45～	8
3	サピスマナ-研修報告	療育	療育：竹下、立岩	5月11日	水	17:45～	8
4	看護研修報告	看護	看護：浦岡、乾	6月8日	火	17:45～	12
5	てんかんについて	医局	奥野 毅彦 医師	6月16日	木	17:45～	24
6	自立支援協議会 相談支援について	地域支援	相談支援専門員 益池 雄三	6月22日	水	17:45～	17
7	医療安全（医療機器）	医療安全	大和サンソ	6月27日	水	17:45～	10
8	褥瘡対策	褥瘡対策	看護：堂山	8月10日	水	17:45～	20
9	個別支援計画について	個別支援委員会	療育：樽井	8月24日	水	17:45～	17
10	防災委員の取組	防災委員	防火管理者：鹿野	9月14日	水	17:45～	13
11	防犯対策について	防災委員	奈良警察	9月29日	木	15:30～	25
12	双-ズ-の研修報告	療育	療育：竹下、鍵田	10月12日	水	17:45～	17
13	皮膚トラブル改善に向けた 取組	看護	看護：小関	10月19日	水	17:45～	9
14	医療安全（ヒヤリハット）	医療安全	看護：奥村	11月9日	水	17:45～	17
15	NST活動について	NST		11月16日	水	17:45～	20
16	実習指導会参加報告	看護	看護：高岸、大西	12月7日	水	17:45～	13
17	権利擁護 -障害児者支援を通じて-	人権	各課発表	12月14日	水	17:45～	17
18	発達障害基礎研修報告	療育	療育：城野	1月11日	水	17:45～	15
19	訓練課の取組	訓練課	言語聴覚士：松本	1月25日	水	17:45～	14
20	医局の取組	医局	園長 大島 圭介	2月8日	水	17:45～	18
21	研修会報告	看護	看護：山口	3月1日	水	17:45～	11
22	障害者総合支援法について	地域支援	相談支援専門員：益池	3月8日	水	17:45～	14
23	歯科保健講習会	8020運動	奈良県歯科医師会	3月9日	木	17:45～	24
24	保育所等実習指導研修会報 告	療育	療育：桐山、佐々木	3月29日	水	17:45～	14

平均参加者数

15.1

防災訓練実施報告

平成28年度	回数	参加人数	実施日							
避難訓練	9	65	H28.4.4 H29.1.17	H28.7.19 H29.2.21	H28.8.30	H28.8.30	H28.9.20	H28.10.18	H28.11.15	H28.12.20
救助訓練	1	5	H29.2.21							
通報訓練	8	63	H28.4.19 H29.2.21	H28.6.21	H28.7.19	H28.8.30	H28.10.18	H28.11.15	H28.12.20	H29.1.17
消火訓練	5	39	H28.4.4 H28.6.21 H28.10.18 H28.11.15 H28.12.20 H29.1.17							
防災訓練	6	33	H28.4.19 H28.5.17 H28.7.19 H28.9.20 H29.2.21 H29.3.21							

訓練テーマ

- H28.4.4 バルツァ新人オリエンテーションプログラム。消防設備、消火器、避難経路を実際にみて確認する。
 - H28.4.19 緊急連絡網確認。停電時の対応を話し合う。
 - H28.5.17 防災、停電時の対応
 - H28.6.21 火災報知器がなった時の初期対応。火事でなかったときに消防設備の復活方法
 - H28.7.19 1階対象の全体訓練（通報、避難誘導）シミュレーション 排煙窓の開放方法、防災（停電）
 - H28.8.30 1階対象の全体訓練（通報、避難、）館内放送、PHSを用い、病棟の指令系統と非常用持ち出し品に着目した。
 - H28.9.20 次回夜間想定訓練テーマを決める。防災（停電時の備品について）
 - H28.10.18 夜間想定訓練（通報・初期消火・避難誘導）状況に応じた避難経路について着目した。
 - H28.11.15 消防署に出向き、居室から動かない。安全に消防隊が来るまでの間、待機する方法を指導を受け報告する。
 - H28.12.20 全体訓練（夜間想定）シミュレーションする。当直医の役割の成文化必要。マスターキーを使用出来ない部屋の確認必要。
 - H29.1.17 全体訓練（夜間想定）
 - ・通報（赤電話使用）
 - ・消火（水消火器で実際に消火器の使用方法を訓練する。
 - ・避難するまでの初期対応。（消防隊がくるまでの時間15分の長さを体験する。）
 - H29.2.21
 - ・水害、土砂災害説明会資料を説明する。災害発生時のアクションカードについて話し合う。
 - 園長が来るまでの医師当直の役割を成文化する。（災害時のトリアージ とどまるのか、搬送するのか判断。）平成29年度の計画を立てる。
 - H29.3.21
 - ・時間外のリーダーシップについて、病棟師長と事務長と話し合いをお願いした。
 - 話し合いの日は未定。
-
- H29.3.29 救助 AED使用方法説明会 日本光電(株)
 - H29.9.14 園内講習「防災委員の取り組み」防火管理
 - H29.9.29 園内講習「防犯対策」奈良警察

実習・見学ほか

奈良県立高円高校（評議員）
東市地区社会福祉協議会（評議員）

兵庫医科大学（早期臨床体験実習） 平成 29 年 1 月 10 日～20 日 2 名
ハートランドしぎさん看護専門学校（看護学生臨地実習） 平成 28 年 9 月 20 日～11 月 10 日 35 名
奈良佐保短期大学（介護実習） 平成 28 年 7 月 4 日～7 月 8 日 2 名
奈良佐保短期大学（保育実習） 平成 28 年 11 月 7 日～11 月 20 日 4 名
関西学研医療福祉学院（作業療法士臨床実習） 平成 27 年 2 月 6 日～3 月 2 日 4 名
帝塚山大学（保育実習） 平成 29 年 2 月 22 日～3 月 22 日 6 名
天理大学（介護等体験） 平成 28 年 8 月 1 日～5 日 2 名
奈良学園大学（看護実習） 平成 28 年 11 月 4 日～平成 29 年 2 月 10 日 16 名
奈良大学（介護等体験） 平成 28 年 7 月 20 日・9 月 10 日 4 名
白鳳短期大学（保育実習） 平成 28 年 8 月 1 日～12 日 1 名

橿原市自立支援協議会（施設見学） 平成 28 年 9 月 13 日 10 名
奈良佐保短期大学（施設見学） 平成 28 年 6 月 23 日・6 月 30 日 20 名
堺市北区地域福祉課（施設見学） 平成 29 年 1 月 24 日 1 名
東市民生委員（施設見学） 平成 28 年 5 月 10 日 25 名
大阪府立東大阪支援学校（施設見学） 平成 28 年 8 月 24 日 5 名
奈良市飛鳥中学（福祉施設交流体験学習） 平成 28 年 6 月 13 日 10 名
明日香養護学校（施設見学） 平成 28 年 7 月 26 日 8 名

地域交流（ボランティア等参加者数※施設ご利用者は除く）

平成 28 年 7 月 23 日（土）納涼祭（73 名）
平成 28 年 10 月 22 日（土）バルツァフェスティバル（99 名）
平成 28 年 12 月 10 日（土）クリスマス会（79 名）
平成 29 年 3 月 27 日（月）力士交流会（144 名※法人保育園児含む）

平成 29 年 2 月 8 日（水）東市地区各種団体新年交流会
平成 28 年 8 月 9 日（日）鹿野園町秋祭り、神輿巡行

寄付・助成金等

事業名	名称	適用
ボランティア活動支援事業	財団法人 政策医療振興財団	プリンター他 80,000 円
備品購入費助成	森田記念福祉財団	ローポケットシステム 213,840 円

施設整備補助金

工事概要	補助名	補助額
防犯対策強化整備	障害者（児）施設整備費県費補助金	防犯カメラ他 1,022,000 円